

北海道乳幼児療育研究会 第39回研究大会 分科会1 保育  
テーマ 「保育者応援ミーティング～保育・療育の同僚性について考える」

# 私の支えになった同僚の言葉や態度

現・札幌国際大学学生/元・幼稚園教諭 鹿又糸子  
NPO法人にしのみさと/こども學舎 柿原 勝  
2025.10.5(日)

# それぞれの自己紹介

## 鹿又 糸子

- 短大卒業後、私立幼稚園で就職。  
～恩師と出会う～
- 同じ系列園に異動して働くが、様々なことに悩む日々。  
～一度現場を離れる～
- 柿原(園長)のいる園に就職。
- 預かり保育を担当し、担任を持ちたいと希望して担任になるが、今までの保育のスタイルとの違いに葛藤の日々。
- 「わからなさ」に向きあう日々。

## 柿原 勝

- 保育所、幼稚園で担任をして、その後園長へ。
- 自分で直接クラス運営をするのではなく、全体の総括をする立場に戸惑う日々。
- 管理職の難しさや孤独さを感じつつ、どうしたら・・・とモヤモヤする日々。
- 鹿又先生との出会い。恩師を僕も尊敬。
- 鹿又先生が、悩みながら、いつも大変そうにしているのを知りつつも、長い視点で見るとすごい成長をしているのを感じてワクワクもしていた。

# 悩んだ日々、葛藤の日々(鹿又先生)

「わからない」・「失敗した時」

- 怒られないように保育をすることばかり考えるようになってしまった。
- とにかく無難に何事もなく怒られることがなく、1日が終わるように・・・と願っている日々が続く。  
➡「本当にそれでよいのか？」という葛藤や自己嫌悪



自分らしさを出せたのは、自由遊びの時であり、自由遊びは楽しかった記憶あり。

# 同僚の存在、言葉、態度が支えに①

- 方向性が似ている同僚の保育者【A先生とB先生】と保育の話をする事で、「やっぱりこうだよな」と確認し合うことで自分の気持ちを保つことができた。
- 3人の話に対して「理想論だよな」と周りに言われたことがあったが、3人とも「理想って大事だよな」という結論に至った。
- 3人とも担任だったので、互いの保育をみることはあまりできなかったが、誕生会の司会進行や製作したものを保育後に見て色々話し合い、保育の楽しさを感じられた。

# 同僚の存在、言葉、態度が支えに②

- 柿原の園に来て4年目の年少組担任の際、一緒に組んだC先生とD先生(ともに現場経験豊富)に、春の打ち合わせの段階で自分のしたい保育を伝える。

➡C先生もD先生も同じ方向を向いてくれていると感じた。



- 反省点もたくさんあり、失敗もしたが、いつも励ましてくれたり、一緒に考えてくれたり、失敗を笑い飛ばしてくれた。自然と前向きに「次はこうしてみよう！」と考えることができていた。



- 柿原より「鹿又先生の保育は、安心してみることができます」と言われて、「子どもの喜びを考えた保育の大切さ」「保育に挑戦していくことの大切さ」を感じる。「**保育者自身が楽しく**」を改めて痛感した1年間に。

# 同僚の存在、言葉、態度が支えに③

- 活動と活動の間(=排泄・手洗い後の時間)のような隙間時間に子どもをただ待たせるのではなく何か楽しい時間にしていくことを心掛けていった  
➡子どもたちの興味関心、タイミングや間や順番の大切さを考え続けるようになった。



- その時の子どもたちの姿について柿原から具体的によかった点を伝えられ、自信にもなっていた。
- 恩師の先生も柿原も、まず私の思いを聞いてくれていたのと、はじめから否定することはなかったので、話しやすかった。
- 「**手を抜くと、子どもに見抜かれる**」という言葉を言われ、「このくらいでいいか・・・」ではなく、「いやもっと！」と準備した時の保育はやはり子どもの反応がとてもよくて、準備をしっかりとってよかったという体験になった。

# 「子どもたちのことを考えて取り組む」誠実さ

- 保護者から好評価されたから「よい」ではなく、鹿又先生が子どもたちの姿を想像し、考え続けて、失敗をおそれ過ぎず、保育実践をされていた姿に柿原は感銘を受けていた。



- うまくいかないことがあったとしても、この姿勢を継続していけば、自ずと結果はついていくと感じた。(大事なことは続けること)
- 保育者が気持ちを持ち続けていくためには、管理職はよく観察し、工夫している点やよかった対応に対して**具体的に褒めていく**ことと、頑張りに対して**労いの言葉**を掛けることなのではないかと管理職の姿勢とは・・・と考えるようになった。

# 自身の職場でアウェー感を 感じていませんか？

- 子どもとの関わりで、色々と考えていると…  
⇒「そこまでしなくてもいいじゃないですか！！給与安いし」
  - 他の保育者らに、「もっとこうしてみたら…」と凄く遠回しに  
気を遣って提案してみたら…  
⇒「いや、今の方法で良いと思う」と多数に負ける。
  - 管理職に上司の対応について相談したら…  
⇒「告げ口したの！！」と嫌味を言われた。
- ※ ここまで酷くなくても、しっくりこないこと等ありませんか？

# 支えとなる言葉や態度があると・・・

- 職場内の同僚から、他の機関の職員から、養成校の先生から  
↓
- 「〇〇君にはそういう面もあるよね」「よく見ているね！！」
- 「その進め方、いいと思う」「私も真似してみます」
- 「もしうまくいかなかったら、別な方法も私なりに考えておくね。」
- 「自分が3年目の時にはそんな風には思えなかったなあ・・・」
- 「うまくいってないと言っていますが、丁寧な対応を続けているからこそ、土台作りはしっかりできていると思います」等々

# 会場の皆様はいかがでしょうか？ アプリを活用して共有(可視化)しましょう！！

- そのアプリは『LiveQ』です。
- 本日は、そのアプリを活用して会場の皆様と、ここまでの様々な思いなどを共有できたらと思っています。
- 質問をこちらの方でいくつか用意してありますので、回答いただき(スマホを操作していただき)、それを会場のスクリーンで映し出し、見ていきたいと思っています。

# 改めてお伝えしたいことは・・・

- 正解のない保育、療育分野において、どれだけ頑張っても、モヤモヤは消えないものかもしれません。
  - 目の前の子どもたちのために、自分の時間を削り、周囲にも心を遣い、日々葛藤しながら頑張っている皆様へ、本日改めて伝えたい言葉は、「**一人じゃない！！**」
  - 同じような苦勞しながらも日々向き合っている仲間がここにはいる。同じように考えている人がここにはいる。また、少し違う視点を、この場で知ることで皆さんの視野がひろがったら嬉しく思っています！！
- 一緒に支え合い、刺激し合い、なが～く学び続けましょう！！